

SUKIYAKI 塾口頭試験講座 模擬面接資料<講師用>

| 分野 | 質問内容 | 質問内容説明 ・質問の狙いなど | 回答への対処 | 所要時間目安 |
|--------------|---|--|--|--|
| 経歴及び 应用能力 | A-1 経歴票に書いた内容について3分程度で説明してください | 経歴は確かか？ 専門分野の経歴は十分か？ 説明時間を指定する場合は最大3分程度に | 経歴票記入内容と不一致は指摘して不一致理由を明らかに 偽装が発覚したら直ちに評価Cとして、次の「体系的専門知識」へジャンプ 受験分野の経歴が少ない場合は、「経歴が少ない」と突っ込むか、経歴内容を詳細に聞く | この中から1～2問選んで、最大10分程度を目安に試験 全体を省略してもよい A-8～9と合わせて25分くらいを上限に時間調整 |
| | A-2 (経歴票の中からピックアップして)この業務について説明してください | 自分自身が実際に担当した業務か？ 技術士にふさわしい問題抽出・着想・実現性・多様な視点を評価 経歴を使い捨てにしているか？ | あやふやな回答なら突っ込んで現場エピソードなどを聞く 不十分な回答なら他の業務を指定してフォローするか、評価Bにして次の質問へ | |
| | A-3 失敗例を2つ言ってください | 失敗がその後の技術改善・技術力向上にどう生かされているか 逆に「うまくいった事例」でもよい | 失敗だけでその後の改善がなければ「その失敗をどう生かしているか」とフォロー うまくいった事例でも評価ポイントはその経験をその後どう活かしているか この回答で資質向上の責務に関する評価を兼ねてもよい | |
| | A-4 受験動機は何ですか | 自己中心的な理由だけではないことを確認 技術士取得が組織内でどのように評価されるか聞いてもよい | この回答で公益確保に関する資質評価を兼ねてもよい 給料などのインセンティブであってもいいが、積極的であることを最優先評価 | |
| | A-5 技術士になった時の抱負がありますか | 4とセットにして質問してもよい | (4)とセットの場合矛盾しないこと 抽象的な回答なら「具体的には？」と突っ込んでよい | |
| | A-6 組織内のあなたの職務はどのようなことですか | 専門技術力が活かせる職務についているか確認 技術士取得によりどう変化するか聞いてもよい | 実務だけでなく、指導などを行う立場であってもOK 営業・経歴などの場合、専門技術力をどう生かしているか質問 | |
| | A-7 技術士になると、どのような優遇措置が得られますか | 技術者は自らの正当な評価に関して無関心ではないが、どうか？ | あまり無関心だと感じたらB評価 | |
| | A-8 技術的体験論文について説明してください | ①3分、②5分、③10分、④指定なし のいずれかの時間を指定して説明させ、その内容について質問していく。 質問内容は ・主体的なかかわり ・問題点抽出の的確性 ・技術的妥当性 ・実現性・多様な視点 ・将来展望 などについて 説明は必ずさせるが、説明を短めにして質問を多くしても、説明を長めにしてコミュニケーション力を見てもいい | 以下の視点で評価 ・解決策は技術的に妥当か ・問題点が的確に抽出されているか ・技術士にふさわしい解決策か ①着想が評価できるか ②実現性があるか ③多様な視点 ④経験則・試行錯誤でないこと ⑤マニュアル追従でないこと ・説明は論理的か ・コミュニケーション力はあるか うまく答えられなければ、3回程度を限度としてフォロー入れてもよい 偽装が発覚したら直ちに評価Cにして次の「体系的専門知識」へジャンプ 技術的内容に問題があれば指摘して答えにより評価 議論に引き込んでも可 「どうもあなたの論法は納得できない」などあえて挑発的に出て、論理的に説得する力を試してもよい 専門技術者として致命的と思われる技術的間違い、何度質問を変えてもフォローしてもうまく説明できない、論理性や実現性が著しく欠けている、問題点が整理できておらず誤った方向に進んでいるなど、著しく劣ると評価される場合、評価をCにして、「体系的専門知識」へ この回答内容で体系的専門知識や技術に対する見識を含めて評価してもよい | |
| | A-9 技術的体験論文の略記のみ事例について、課題・問題点と解決策を説明してください | | | |

SUKIYAKI 塾口頭試験講座 模擬面接資料<講師用>

| 分野 | 質問内容 | 質問内容説明 ・質問の狙いなど | 回答への対処 | 所要時間目安 |
|----------|------------------------------------|---|---|--|
| 体系的専門知識 | B-1 〔専門技術問題〕 | 部門・選択科目に合わせて別紙の中から選んで、あるいはご自分で考えていただいて、2問程度質問 (あるべき答案が理解できるものを選んでください) | 満足のいく回答でなければ、満足できる回答が2問になるまで、5問程度を限度に時間内でできるだけ質疑応答を繰り返す 5問程度繰り返しても満足できる回答がないとか、専門分野からみて知っていなければならない知識も知らないなどの場合は、評価をCにして次の「技術に対する見識」へジャンプ | 全体で10分まで省略しないで少なくとも1問出題 B-2と合わせて10分くらいを上限に時間調整 |
| | B-2 選択科目の答案についてお聞きします | 専門問題再現答案がある場合、これを見て質問事項があれば質問 | 満足のいく回答でなければ、満足できる回答が来るまで、3回程度を限度に質疑応答を繰り返す 3回程度繰り返しても満足できる回答がないとか、専門分野からみて知っていなければならない知識の欠落があるなどの場合は、評価をCにして次の「技術に対する見識」へジャンプ 答案の中に、間違っている・疑問のある解答がある場合は、ここでできるだけ確認正しければその後の勉強でフォローしたと考えて資質向上責務の資質評価に換えてもよい | 5分程度を目安に省略可 B-1と合わせて10分くらいを上限に時間調整 |
| 技術に対する見識 | C-1 必須科目の答案についてお聞きします | 自分自身の身についた考えか 関連事項や発展的事項、社会トピックなどに質問を発展させてもよい | 見識について突っ込んで可 答案の中に、間違っている・疑問のある解答がある場合は、ここでできるだけ確認正しければその後の勉強でフォローしたと考えて資質向上責務の資質評価に換えてもよい | 5~7分程度を目安に ここまでの試問でこの資質は確認できたと思われる場合は省略可 ここまでの35分程度が望ましい(多少早くなっているかもかまわない) |
| | C-2 あなたの専門分野における技術的トピック事例はありますか | 自分の仕事の範囲に視野が限定されていないか 情報獲得リソースについての知識も持っているか | あえて「あなたの考えには疑問があるんだけど」などと挑発的に出て議論に引き込んで可 職業や年齢などのプロフィールから、苦手そうな分野に切り込んでもいい ・企業社員は社会経済の大きな動き ・公務員は市場や市民活動の視点 ・中小企業・若年層はCSRや地球環境 ・熟年層は新技術など そこそこ答えれば評価Aをつける 社会経済の中での技術者としての自分の役割、自分の属する技術分野の社会的役割などについて、意識が著しく低いと感じたら評価をCにして、次の「技術士法知識」へジャンプ | |
| | C-3 〇〇についてどう思いますか | 専門外の技術トピックをぶつけて、何か出てくるか みる (技術トピックに限る) | 広い視野が確認できれば積極的に評価するが満足な回答が返せなくても評価Bまでにとどめる | |
| 技術士法知識 | D-1 技術士法の目的は何ですか | 条文そのままではなく「自分の言葉で」と指定しても可 | 資格を定め業務適性をはかり科学技術向上・国民経済発展に寄与 6割程度言えれば評価Aとする | 5分程度を目安に ここまでの試問でこの資質は確認できたと思われる場合は省略可 Eに最低5分くらい残すよう時間調整 |
| | D-2 技術士とは何ですか | 条文そのままではなく「自分の言葉で」と指定しても可 | 登録を受け、名称を用いて、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項について調査設計指導研究等を行う 6割程度言えれば評価Aとする D-1、D-2いずれも5割未満しかいえない程度のレベルなら、評価をCにして次の「技術者倫理」へジャンプ | |
| | D-3 技術士法はなぜ必要だと思いませんか | 「法」として整備してあることの社会的意義がわかっているか | 専門知識・見識・応用力・倫理などの資質が確認できない者を、社会的に重要な立場である高度な専門的応用能力発揮業務に従事させることは国益にかなわない なんとなくわかっているならばA評価 D-1、D-2も包含してこの質問をしてもよい | |
| | D-4 技術士と同様の外国資格を知っていますか | 「APECエンジニアとは何ですか」というように聞いてもよい | PE (アメリカ、韓国)、CE (イギリス)、登録工程士 (中国) など 国際資格としてAPECエンジニアも可 | |

SUKIYAKI 塾口頭試験講座 模擬面接資料<講師用>

| 分野 | 質問内容 | 質問内容説明 ・質問の狙いなど | 回答への対処 | 所要時間目安 |
|--|-----------------------------------|----------------------------------|---|--|
| 技術者倫理 | E-1 3義務2責務を言ってください。 | いろいろな質問の仕方がある 「自分の言葉で」と指定しても可 | ①信用失墜行為の禁止 ②名称表示の場合の義務 ③守秘義務 ④公益確保の責務 ⑤資質向上の責務 「自分の言葉で言ってください」 「それはどういうことですか」 などと指定あるいは突っ込んで別の言葉で表現させてもいい 言えなかったら若干フォローを入れて、最後は自分で言わせる 2つ以上覚えていなかったら評価Cとする | 5～7分程度を目安に2～3問試問 総計時間が43分以上にならないように時間調整 多少早く終わってもいいが、総計時間が40分に満たない場合は、満足いかなかった分野について追加質問 それもない場合はこのワークシートのまだ質問していない項目について質問 ただしC評価がついて早く終わった場合は打ち切つてよい（その分アドバイスを回してください） |
| | E-2 信用失墜行為とはどのようなものですか | 信用失墜行為と思われるトピックをあげさせてもよい | 構造設計計算書偽装などの事例のように、技術士という資格全体の信用を失わせるような内容 事例の場合は技術に関するものであること（談合や食品消費期限偽造などは、その組織に属する技術者としての視点であればいいが、一般市民の視点やマスコミ的視点はダメ） | |
| | E-3 名称表示義務とはどのようなものですか | 何か例をあげて「このようなことはOKか」でもよい | 技術士として業務を行う場合に限定 技術士であることを表示しなければならないという義務ではなく、表示する場合は部門を明示しなければならないという意味 表示義務は部門のみ 部門+科目でもOKだが、科目だけの表示はダメ | |
| | E-4 守秘義務を犯すとどうなりますか | 「罰則はありますか」といった質問でもよい | 守秘義務は1年懲役罰金50万円 それ以外の義務・責務は資格登録取消だけ 公務員法その他、秘密を扱うことがある職業はすべからず守秘義務があり、同程度の罰則がある | |
| | E-5 公益確保とはどういうことですか | 「公益とは何ですか」といった質問でもよい | 公共の安全、環境の保全その他の公益を守ること（反対語は私益） 「環境」が抜けることがよくある | |
| | E-6 資質向上のためどういうことをしていますか | 「3つあげてください」など数を指定してもよい | 大きく勘違いした内容でなければよい うそくさいことを言った場合は、「具体的にはどうしていますか」 「最近どんなことがありましたか」 など真偽確認をしてもいい | |
| | E-7 技術者倫理に反していると思われる事例を挙げてください | 「構造計算書偽装以外」というように限定してもよい | 大きく勘違いした内容でなければよいが、技術に関するものであること 談合や食品消費期限偽造などは、「その組織に属する技術者だったら何をすべきか」というような視点であればいいが、一般市民の視点やマスコミ的視点はダメ マスコミ報道に流されて実は自分自身の意見は持っていない場合があるので、そう感じたら突っ込んで可 情感的でなく客観的に技術者倫理に照らして判断していること | |
| | E-8 反倫理行動は、どうしたら防げるとおもいますか | E-7に続けて突っ込み質問として | 反倫理行動防止の基本は、 (1) 厳罰化……他律 (2) 倫理向上……自律 (3) 仕組み作り……管理 | |
| | E-9 もし公益に反した守秘を求められたらどうしますか | 「もしデータ偽造を指示されたらどうしますか」などでもよい | 公益確保優先（公益優先原則） 告発する場合は、組織内で十分努力してから、しかるべき機関に | |
| | E-10 その他 | 別添技術士倫理要綱等を参考にフリー質問可 | 技術者としての倫理観を評価できればいい | |
| 【総合】 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 各項目の評価は、別紙評価表によります。 A→Eの順序に進めなければならないというわけではありませんが、項目ごと省略はしないでください。 次の質問は必ずしてください。 A-8技術的体験論文説明と質疑／B-1専門技術問題／E-13義務2責務（他の方法で確認しても可） 終了したら、評価表を提示して解説・アドバイスをしてください。 | | | | |

受講番号:

受験者氏名:

講師:

| 分野 | 質問番号もしくは質問内容 | 所見 | 評価 | ○× |
|----------------------|--------------|----|-------|----|
| 経歴 及び 応用 能力 | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| 体系的 専門 知識 | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| | | | A B C | |

※A:60点以上、B:40~60点、C:40点未満/Cが1つでもあったら×、Aが4割未満なら×

SUKIYAKI塾口頭試験講座 模擬面接評価表

No.5

| 分野 | 質問番号もしくは質問内容 | 所見 | 評価 | ○× |
|-----------------|--------------|----|-------|----|
| 技術に対する見識 | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| 技術士制度の認識 その他 | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| 技術者倫理 | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| | | | A B C | |
| | | | A B C | |

※A:60点以上、B:40~60点、C:40点未満/Cが1つでもあったら×、Aが4割未満なら×

【全体講評】